平成３０年度　○○小学校　総合的な学習の時間　全体計画（例②）

第１の目標（学習指導要領）

【学校の教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付けた心身ともに健康な◆◆っ子の育成

（１）基礎的・基本的な知識及び技能を習得して，自分のものとして活用できる力の育成

（２）児童自らが思考を広げたり深めたりしながら，新たな知識や価値を創りだす力の育成

（３）学んだことを自分との関わりで捉え，自分の生活に役立てようとする態度の育成

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ，地域の人，もの，ことに関わる総合的な学習を通して，目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し，自己の生き方を考えることができるようにするために，以下の資質・能力を育成する。

1. 地域の人，もの，ことに関わる探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域の特徴やよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
2. 地域の人，もの，ことの中から問いを見出し，その解決に向けて仮説を立てたり，調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに，考えたことを，根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
3. 地域の人，もの，ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

|  |  |
| --- | --- |
| 目標を実現するにふさわしい探究課題 | 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力 |
| 知識及び技能 | 思考力，判断力，表現力等 | 学びに向かう力，人間性等 |
| ３年 | ひじきの生産に関わる人々の願いや思いと，それを実現しようとする意義 | 【別紙】探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力参照 |  |  |
| ４年 | 番匠川を清流にしたいと活動する人々の願いや思いと，それを実現しようとする意義 |
| ５年 | 津波から人々を守るための活動の仕組みや価値と，それに携わる人々の努力や創意工夫 |
| ６年 | 「食のスター誕生」の取り組みの仕組みや価値とそれに携わる人々の努力や創意工夫 |

|  |
| --- |
| 教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力 |
| 情報活用能力 | 言語能力 |

【各教科等における見方・考え方】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国語 | 自分の思いや考えを深めるため，対象と言葉，言葉と言葉の関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉え，その関係性を問い直して意味付けること。 | 家庭 | 家族や家庭，衣食住，消費や環境などに係る生活事象を，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の継承・創造，持続可能な社会の構築等の視点で捉え，よりよい生活を営むために工夫すること。 |
| 社会 | 社会的事象を，位置や空間的な広がり，時期や時間の経過，事象や人々の相互関係などに着目して捉え，比較・分類したり総合したり，地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。 | 体育 | 運動やスポーツを，その価値や特性に着目して，楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え，自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること。 |
| 算数 | 事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，論理的，統合的，発展的に考えること。 | 保健 | 個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること。 |
| 理科 | 自然の事物・現象を，質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え，比較したり，関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。 | 外国語活動外国語 | 外国語で表現し伝え合うため，外国語やその背景にある文化を，社会や世界，他者との関わりに着目して捉え，コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて，情報や自分の考えなどを形成，整理，再構築すること。 |
| 生活 | 身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，比較，分類，関連付け，試行，予測，工夫することなどを通して，自分自身や自分の生活について考えること。 | 道徳科 | 様々な事象を，道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え，自己の生き方について考えること。 |
| 音楽 | 音楽に対する感性を働かせ，音や音楽を，音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え，自己のイメージや感情，生活や文化などと関連付けること。 | 特別活動 | 各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて，集団や社会における問題を捉え，よりよい人間関係の形成，よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けること。 |
| 図工 | 感性や想像力を働かせ，対象や事象を，形や色などの造形的な視点で捉え，自分のイメージを持ちながら意味や価値をつくりだすこと。 | 総合 | 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して，広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え，実社会・実生活の課題を探究し，自己の生き方を問い続けること。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【学習活動】 | 【指導方法】 | 【指導体制】 | 【学習の評価】 |
| ・地域の実態，児童の実態を踏まえ，探究課題を設定する。・地域の人，もの，ことを生かした学習活動を行う。 | ・体験活動を重視する。・各教科等との関連を重視した指導を行う。 | ・全校指導体制を組織する。・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。 | ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。・個人内評価を重視する。 |